

基調対談 概要報告書

分科会名	開会式 基調対談～イクメンの「次」に来るものを僕らは知っている！？～		
実施日	平成24年2月17日（金）	実施時間	13:00-15:00
会場	淡海1. 2	参加人数	234人
登壇者	安藤哲也（ファザーリング・ジャパン代表理事） 小崎恭弘（神戸常磐大学短期大学部准教授、ファザーリング・ジャパン理事）		

概要報告書

基調対談（安藤／小崎）

- ・安藤自身は、元は仕事にどっぷり人間で育児に苦労していた
- ・ファザーリングという社会的ミッションを果たす手段としてNPOを設立した
- ・リーマンショックがターニングポイントで、男性の価値観が変わってきた。特に若い世代
- ・企業では中間管理職（粘土層）が抵抗勢力になりがち。彼らには介護も来る
- ・フレンチトースト基金（父子家庭支援）をきっかけに、社会の矛盾解決や政策提言も始めた
- ・ペンギンパパ（産後うつ）、さんきゅーパパ（男性の育休）、タイガーマスク基金（児童養護施設支援）
- ・イクメンでがんばりすぎてバーンアウトするパパ、二人目の母親になっているパパが出ている
- ・育児パパに育てられた子どもたちが親になったとき、ファザーリングの成果が出る
- ・子どもは親が言ったとおりではなく、行ったとおりに育つものだと感じる
- ・「イクメン」の次に「生き方がカッコいいパパ」のブームを作りたい

二人の掛け合いトークでときに笑いが起きつつ、父親の育児全般に関する課題共有や、ファザーリングジャパンのこれまでの実績や今後の方向性が語られた